

徳島県教育委員会は、徳島県文化財保護審議会の答申に基づき、以下の事項を決定した。

決定事項

(指定された有形文化財)

種別	名称	員数	所在地	所有者及び管理者
有形文化財 (絵画)	鳴門十二勝真景図巻	一卷	徳島県徳島市徳島町 城内1番地の8	徳島市 徳島市立徳島城博物館
有形文化財 (考古資料)	蓮華谷古墳群(Ⅱ) 二号墳出土品	一括	徳島県板野郡板野町 犬伏字平山86番2	徳島県 徳島県立埋蔵文化財総合 センター

概要

1 鳴門十二勝真景図巻

「鳴門十二勝真景図巻」は平成17年3月25日付けで徳島市の有形文化財(絵画)に指定されており、現在は徳島市立徳島城博物館の収蔵庫で保存管理され、年に1回程度公開展示をしている。作者の鈴木芙蓉が寛政8年(1796)に徳島藩の御用絵師となり、11代藩主蜂須賀治昭の参勤交代に従って阿波に入国した折りに、藩主の命を受けて阿波第一の名所である鳴門の勝景を12場面描いたものであり、芙蓉にとって記念碑的な作品として位置づけられる。本作品は本県を代表する景勝地である鳴門海峡を実景に忠実に描いたもので、描写は緻密、彩色は非常に丁寧であるなど作品としての出来がよい。また江戸時代後期の鳴門の景観を伝える上でも貴重な資料である。

2 蓮華谷古墳群(Ⅱ)二号墳出土品

当物件は、平成2年に四国縦貫自動車道建設に伴い発掘調査された板野郡板野町犬伏所在の蓮華谷古墳群(Ⅱ)二号墳の出土品である。調査により古墳時代前期(3世紀後半～4世紀)の粘土槨を持つ円墳であることが判明し、本県の粘土槨の始原を考える上で重要な古墳である。副葬品には銅鏡1、鉄製武器工具(鉄刀1、鉄剣1、鉄斧1、鉄鉈1)、装身具(翡翠勾玉1、碧玉管玉11)、土師器壺1があり、徳島県立埋蔵文化財総合センターで展示されている。前期古墳の出土資料は全国的にみても数少なく、特に銅鏡は仿製鏡の古墳への副葬開始時期を考える上で重要な資料である。